

競技の枠を超え熱戦 スポーツ少年団駅伝大会を開催

「第38回小松島市スポーツ少年団駅伝大会」が1月18日、市立体育館周辺コースで開催され、市内の各種スポーツクラブから23チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

本大会は1チーム6人の構成で、1人約1.6キロの周回コースを走り、総合タイムを競い合うもので、参加した子どもたちは、チームメイトで声を掛け合って健闘を誓い、号砲とともに勢いよく市立体育館前をスタート。真冬の寒さに負けず、チームメイトや沿道に詰め掛けた保護者から声援を受けながら、懸命にたすきをつなぎ力走していました。

大会結果は次の通りです。

【男子チーム】

優勝 小松島少年サッカースクール A
準優勝 小松島 Jr. バドミントンクラブ
第3位 横須南校少年野球 A

【女子チーム】

優勝 新開 JVC A
準優勝 小松島 JVC
第3位 小松島 Jr. バドミントンクラブ



チームメイトにたすきをつなぎ子どもたち

市民なわとび大会を開催 跳び続けた時間を競う



勢いよくリズムカルに跳び続ける小学生たち

「第42回小松島市民なわとび大会」が2月1日、市立体育館で開催され、小学生未満から一般の方まで総勢262名が参加しました。本大会は跳び続けた時間を競うもので、体操や事前練習をして準備を整え、スタートの合図とともに参加者らは、勢いよくなわとびを跳んでいました。今大会の最長記録は小学2年生男子の部門で出場した小原翔太さん(立江小)の記録36分16秒でした。

小松島市社会福祉大会を開催 地域福祉の推進を誓う



式典で挨拶をする稲田大会長

市総合福祉センターで2月9日、「第54回小松島市社会福祉大会」が開催され、福祉関係者など約400名が出席しました。

式典では、地域福祉に貢献された61名、2団体に表彰状や感謝状が手渡されたあと、少子高齢化や人口減少など福祉を取り巻く現状が厳しさを増す中、お互いの顔が見えるぬくもりのある地域社会の実現に向け、地域福祉の推進に全力で取り組むことを誓う大会宣言が採択されました。